

since 1995.12
2020年1月発行



SKY通信 第43号

NPO法人 たま・あさお精神保健福祉をすすめる会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸 2341-1

TEL : 044-299-6526

FAX : 044-922-6628

HP : <http://www.sky1995.com/>

「すすめ！ SKY “すすめる会”」

特定非営利活動法人 たま・あさお精神保健福祉をすすめる会 理事

市川悦子(旧姓:水森)

昨冬、思わぬ病を得ました。なじみのメンバーさんたちと分かちあおうと思ったのですが、治療で髪が抜けたことにショックを受けられたご様子で、簡単にお伝えできないことと先延ばしにしてきました。

癌の患者は私だけでなく、周りに心配をかけぬよう伏せたままの方も少なくありません。このような場でお話することではない私事ですが、人生の長きを過ごした SKY と今とを振り返る気持ちの中で避けられず、書かせていただきました。グループホーム移転の取り組み中から長く休み、多大なご負担をおかけしましたが、現場は頼れるスタッフたちが固め、より充実した支援を進めています。

SKY は来年6月の社会福祉法人化に向けて進んでいます。きっかけは特定非営利活動法人の課税に関する問題でしたが、組織の在り方の検討を重ね、川崎市北部の精神保健福祉の一翼を担う法人として、公益性を重視する社会的な責任を永続的に担っていくことを、制度的にも動かぬ使命として据え直すことが、社会福祉法人化の意味なのだと理解しました。1995年、「すすめる会」が柿生グループホーム「あんじょうやりや」の設立を機に始まってから四半世紀。精神保健福祉が必要とされる場面が増す今世紀に、SKY の人と人とのつながり、専門的な関わりが、利用する方々の一時をしのぎ、新たな暮らしを組み直すための地域の装置であり続けることを確信し力を合わせていきます。

ホーム移転で古い資料を処分しながら、柿生時代は私の青春？だったなあと思います。共に一番の古株だった W さんがグループホームを卒業して柿生に残りました。私は法人設立以来、務めさせていただいた理事の役目をNPO 終了とともに終えることとしました。

鏡に映る自分は不満げな皺の浮かんだ中年になりましたが、幸せなことは、そここの事業所で、町の中で、なじみのメンバーさんと再会するたび最高の笑顔をいただけること。利用者の皆さんから力をもらうのは、つくづく日々の事実なのです。「久しぶりですね」。もしかしたら、その時は自分も少しは良い顔になっているかも。人と人との間に生まれる力、嬉しさ、ほっとする感じ、そうしたものが、SKY という場の体温、エネルギーとなっているに違いありません。

職員、役員、地域ほか関係の方々にも本当にお世話になりました。今は離れたスタッフさん、他法人の仲間、大きな力を貸してくださった川崎行政の方々、鬼籍に入られた方々…おひとりおひとりの顔が浮かび、感謝の気持ちでいっぱいです。長くしぶとく、SKY に関わる方々とはしみじみ喧々諤々、本気の議論を続けてきました。こんな真面目な法人ってあるのかな？と自分のところながら思っています。そこに、続々と連なってくれたスタッフたちから新鮮な気づきと力を得て、SKY は前進し続けています。

おかげさまで、病は現在「寛解」となり、山歩きにもホイホイ出かけ、以前と変わらぬ元気でおりますのでご心配には及びません。でも人生、何があるかわからない。少しは今日を大事に、今日を笑顔に過ごしていきたいと思います。私も前へ前へ、限りなく進んでいきます。

までお別れみたいです。これからは少しゆっくりさせてもらい、非常勤職員として SKY の足しになっていきますので、今後とも宜しくお願いいたします。

Flowerillust.com

就労継続支援 B 型事業所 はっぴわーく

多摩区登戸 2959 TEL/FAX 044-299-6367

ついに、念願のジャムファクトリー始動！

川崎きた作業所(現:きたのば)が紙ひこうき隣に移転してから1年。その跡地を改装し、2019年8月、ついに新しいジャム製造室が完成しました。約1年という準備期間では「ジャムファクトリー委員会」を立ち上げこれまでの課題への対策、事業拡大の意義や目的の確認、今後のますますのジャムの発展に向けて話し合いを重ね、より利用者の方が快適に働ける環境づくりを求めて慎重に進めてきました。おかげさまで今ではジャム製造も軌道に乗って、いきいきと利用者の皆さんが働いています！

これまでの課題

- ①狭い！6帖に作業員3～4名
- ②暑い！ジャムを煮込む熱気で冷房が追いつかず、真夏は休憩時間を延ばして対応
- ③食材保管スペースがない！
冷蔵庫、冷凍庫が足りない。置く場所もない
- ④1日の製造量が少ない！
最大で130g30本程度



更衣室もできました。ここで休憩もできます

こんな具合に改善されました♪

- ①32帖の広々とした製造室へ！
- ②適温で快適に作業できます
- ③これまでジャム製造室だった場所を食材保管室にしました
- ④IHを1台増設し、働く利用者の数も増やすことができました。また、大量生産や新商品にも対応できる機器を導入
夢が広がります！



新しい機器も導入し、より作業がしやすくなりました

川崎市の補助金を受けて はぐるまの会と協力し商品開発へ

実は3年くらい前に、はぐるまの会さんより「はぐるまが作った野菜を加工して商品を作ってもらえないか」というお仕事の依頼を頂いていました。しかしその当時は、ジャムを作ることで精一杯の環境…。残念ながら期待に応えることができませんでした。声をかけて頂いたうれしさ半面、一歩踏み出せない現状にやるせない気持ちを抱いたことを思い出します。

それから時が経ち、新しいジャム製造室の完成と川崎市生産性向上促進事業支援補助金の交付決定を受け、「はぐるま工房×はっぴわーく新商品開発チーム」を立ち上げることができました。フレンチのシェフ菊池猛氏を仲間に、利用者の方も一緒になって、完成までの試行錯誤、悪戦苦闘を楽しみながら最高にいい商品をお客様にお届けできるよう奮闘しています。



加工に適した「シシリアンルージュ」
リコピンが多く含まれている

みんなの感想

- ・夏場でも涼しく作業ができるようになった
- ・広くなって、更衣室ができた
- ・快適になったことで、もっとジャム作業が楽しくなった
- ・椅子に座って作業がしやすくなった



商品化された暁には、ぜひ皆さんにも召し上がっていただけたら嬉しく思います。

これからもはっぴわーくのジャムの特徴である素材の味を大切にしたい製品を作っていきますので、応援よろしくお願い致します。はっぴわーくの新たなチャレンジに乞うご期待！



就労継続支援B型 があでん・らら



があでん・ららではこの度、赤い羽根共同募金から
助成金をいただき新しいオーブンを購入しました。
今回は新しいオーブンを使って初めての感想や
普段の製造の様子をご紹介します。

・ ららのクッキーができるまで ・



今までのオーブンとずいぶん
様変わりしました



一枚一枚丁寧に切っています



オーブンに入れて焼き上げます



通常品クッキーの他にも
昨年大好評だったハロウィンクッキー
今年も販売しました

新しいオーブンでは、パンやドライマトの加工、
カフェのデザートなどバリエーション豊かに作っています

・ NEW オーブンはどんな感じ? ・

新しいオーブンで焼くクッキーは焼き色も
美しく味もよく、毎回嬉しい気持ちに
なります。愛着のある古いオーブンから
切り替わったときはうまく使いこなせるのか
不安がありました。今は
なくてはならないパートナーです。
オーブンの寿命が来るまで
一緒に頑張りたいと思います。

クッキー室が整理整頓できオーブンが
コンパクトになって少し広くなった。
暑さが少し和らいだ。

新しいオーブンになり今までのオーブンとは
違い、焼きムラも少なくクッキーの舌触りも
なめらかで、よりおいしくなりました。
さらに、おいしいクッキーができるよう
頑張りたいと思います。

クッキーの焦げが少なくなった。

クッキーがしっとり焼けるように
なると皆喜んでいます。

今までのオーブンは焼きムラがあり
温度や時間に苦労しましたが、今は
均一にキレイに焼きあがるので
見た目の良いクッキーが生産できて
嬉しいです。

あんじょうやりや・きらくや移転しました。

かねてより、移転の話が出ていたあんじょうやりやときらくやが、2019年7月に麻生区から多摩区へ移転しました。あんじょうやりやは麻生区で20年という歴史があり、当法人で最初に開設した事業所です。きらくやは麻生区・百合ヶ丘駅より徒歩6分の一軒家タイプのグループホームとして10年程、暮らしました。

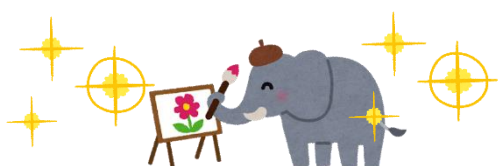
あんじょうやりやは移転に当たり、愛着のある麻生区に残りたい方は現在のアパートを本人名義に切り替え、合計3名の方がこの機会に一人暮らしをスタートしています。グループホームを卒業することの大変さを実感しつつも、3名の方の力を再発見出来た貴重な機会でした。移転先に転居された方も、次のステップに向けて気持ち新たに新生活を始めています。きらくやは高齢から歩行に対しての不安などもあり、坂、階段がある以前の町での暮らしは不便も多かったのですが、移転後は坂や階段のない住居で、1つ玄関に人が居る空間の雰囲気を残すことを大事にし、共有スペースの他にトイレ、ミニキッチンも各部屋に設置。利用者が気兼ねなく、暮らせる環境になり、それぞれの方がその方らしい新生活をスタートしております。



ホームでバスレクに行ってきました～↑



決選投票の結果は10対9! あえなくムーミンバレーパークが敗れて今年のバスレクは東京ディズニーシーになりました。台風、大雨に悩まされた10月でしたが、レク当日の10月24日(木)は曇りをキープ! 到着後には全員で記念撮影。ガイドさんの合言葉は「ディーズにい～☆シ～!!」。現地では3グループに分かれて地図を片手に出発。**乗り物チーム**は高さ50メートルから落下する**タワーオブテラー**へ。案外余裕な人と若干乗り物酔いの人も!?マジックランプシアターではおなじみアラジンの世界を堪能。**色々チーム**はアリエルのショーで夢気分を味わいつつファインディングニモの世界へ🐠自分達もお魚サイズに縮小されてきました!? **のんびりチーム**は買い物を楽しみ。マグカップや帽子などそれぞれのお気に入りグッズを購入。残念ながらゴンドラには乗れませんでした。3人乗りのアクアトピアで渦巻く水の世界を探検。今回は卒業した方や夕食サービスの方含め22人と応援スタッフ含め職員8人の合計30人での参加でしたが、帰りのバス車内での笑顔が印象的でした。来年はムーミンの世界を楽しむことになるのでしょうか?? どうぞお楽しみに☆♪



川崎市文化財団では、障がいのあるなしに関わらず作品の魅力を感じてもらう展覧会「Colors かわさき展」を実施しており、今回さくらスタジオの5人のアーティストが作品を出展しました！！アーティストたちは、2019.8～9月に計3回、講師の指導のもと今まで描いた事のない大きな大きなキャンバスにそれぞれの想いをのせて作品を制作していました。今回はそんな制作風景とみんなで行った展覧会の様子をお伝えします！！

制作風景

- ・講師の先生に「今回のサイズで点画をやったらおもしろいね」と言われ、内心「大変だ！」と思いましたが、頑張りました。（三並さん）



- ・絵画を習ったのは中学生以来だったので緊張しましたが、丁寧に教えていただき楽しく描くことができました。左手で描くことにトライしたら両手で描けるようになってうれしかったです。（ゆきりん）
- ・私は出展していませんが、アーティストの方々が一生懸命書いていて大変そうだな。。。と思いました。（のんちゃん）



アーティスト同士でアドバイスを出し合い、嬉しそうに制作している姿が印象的でした！

行ってきました！Colors かわさき展



- ・自分で考えて描いた絵を出展してもらえてとっても嬉しいです！！頑張って描けてよかったです。（さーにゃ）
- ・自分では発想のおよばない作品が沢山あって新鮮でした！また、障がいの有無や種類に関係なく取り組まれていることが印象的でした。（Y）
- ・自分の作品を出展してもらえて、とても嬉しかったです。他の方の作品もとても素晴らしくて、「もっと頑張りたい」と刺激を受けました！（おんちゃん）



アーティストたちは、様々な展示作品をみて、創作意欲がメキメキと高まったそうですよ！！

紙ひこうき

令和2年1月号

Happy New Year 2020!

新元号となった令和元年、皆さまいかがお過ごしでしたか。
5月、紙ひこうきのすぐ近くで痛ましい事件が起きました。
10月には大型台風の影響で計画的閉所も体験しました。
紙ひこうきでは、4月に異動で所長が変わりましたね。
初めまして、篠原です。このたび、紙ひこうき配属になってから
3番目くらいの大仕事として通信作成を担当しております。ほぼ実行委員にお任せです。

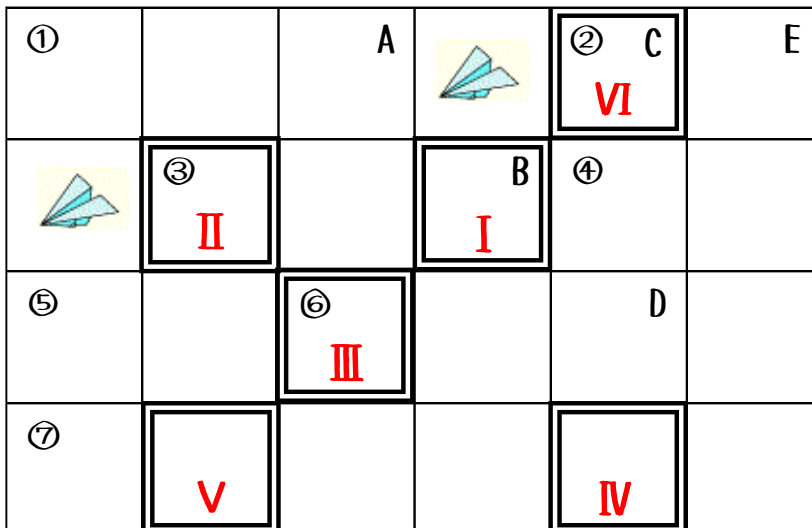
令和2年が始まりました。新しい出会い、悲しいお別れ、楽しいことも寂しいことも受け容れながら
お互いに学びある穏やかな日々を、一緒に過ごしていきましょう。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

NPO 法人たま・あさお精神保健福祉をすすめる会
地域活動支援センター紙ひこうき
〒214-0014 多摩区登戸 2341-1
TEL/FAX 044-922-3686

紙ひこうきとは…

精神障がいのある方の地域生活を支援する、地域活動支援センターです。自分のペースで来られる憩いの場、自分たちで創り上げる自分らしさの場として活動しています。

新春！ かみひこうき クロスワードパズル



正解は、このページのどこかに
隠されているよ。探してね！！
分かるかなー。

▽ 答え

I	II	III	IV	V	VI
---	----	-----	----	---	----



ヨコのカギ

- ①牛乳を英語で言うと？
- ②日本を象徴する花、パスポートの紋章
- ③1日1回は「〇〇〇き」したい？！
- ④海辺にあるもの、川にもあるかも
- ⑤肥料の別名
- ⑥クリスマス、常緑広葉樹
- ⑦南蛮黍（なんばんきび）

タテのカギ

- A：手芸で作るもの
- B：冬に使うもの
- C：映画「魔女の宅急便」二文字の登場人物
- D：ワニで有名なブランド「〇〇ステ」
- E：髪をとかす二文字の道具





日帰り旅行 in 静岡

～沼津港・富士サファリパーク～

令和元年 9 月、バスで静岡県へ。

沼津港で桜エビや生しらすがたっぷりのった海鮮丼で
お腹を満たしたら、お楽しみのサファリツアー。エサやり中
にライオンのケンカが発生し、心臓がバクバク…。
迫力満点で刺激的な一日となりました。



とり肉を
あーん♡

とても楽しかったです。また旅行に行きたいです。(上條)
アニメの聖地に行けて最＆高でした。(プロテイン)

くま・ライオン・ラクダにエサをあげられた。少し触れ
合えて楽しかったです。(悠)



～いい場所・居場所～
みんなのつぶやき



猫のしっぽ
いいね！148件



kamistagram

★ 私の趣味 ★

私の趣味はエッグアートです。エッグアートとは、
本物の卵の殻を製図して専用の機械でカットしてから
色を塗り装飾する芸術の事です。エッグアートを最初
に見つけて来たのは母で、母は本当は自分で習うつ
もりでしたが、自分より私の方が向いていると思って
推めてくれました。始めのうちは正直「面倒臭いな」
と思っていましたが、今では十数年に渡る趣味になっ
て行きました。京王プラザホテル、横浜、荻窪、代官
山等通う場所は変わっても今でも通い続けています。

白い卵を苦労しながらひとつの作品に完成させて
行くその過程が楽しくて、今ではオリジナル作品を創
作出来る様になりました。これからも美しい作品を作
り続けて行きたいと思っています。



---実行委員より---

- ★ 今回私は kamistagram とクロスワードを担当しました。とても大変でしたが良い経験になりました。(猫のしっぽ)
- ★ クロスワードパズルは最初は作るのむずかしいと思いましたが、3人で15分ぐらいで出来ました。今回は挿し絵も頑張りました。(ジュール 432)

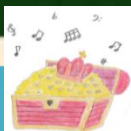


百合丘地域生活支援センターゆりあす

ゆりあすの月曜日プログラムがリニューアル！！

これまでゆりあすの第2、第4月曜日は「パソコン教室」を行っていましたが、惜しまれつつも昨年度で終了となりました。人気のプログラムでたくさんのメンバーがボランティアの矢崎先生から教わりました。そんな人気のプログラムの後に何をしようか、メンバーとミーティングなどで話し合いを重ね、たくさんの意見の中から「月曜日は学びの月曜日にしよう」ということになり、新しいプログラムを始めています。

WRAP（元気回復行動プラン）自主勉強会



“Wellness Recovery Action Plan”（元気回復行動プラン）、略してWRAP（ラップ）では、元気を保ち、また調子が悪くなってきたと感じた時に元気を回復するのに、役に立つ工夫や方法のリストを自分自身で作っていきます。

昨年5月まで、WRAPファシリテーターの“りえちゃん”さんを迎えて、全11回のコースでWRAPのプログラムを実施していました。終了後、継続してWRAPをやってみたい！という仲間が集まって立ち上がったのが、“WRAP自主勉強会”です。

自分の人生の主導権を、自分の手に取り戻すために。自分が自分の主体となって生きるために。元気回復のためのアイデアを皆で出し合いながら、毎月第3月曜日14時～実施中です！



お菓子作り

メニューは何を作りたいか、何を食べたいか、みんなで話し合っていて決めています。

第1回はクレープ、第2回はパフェを作りました。美味しく、各人の個性の光るデコレーションがとても楽しいです。次回は何かを作しましょうか…♪



ゆりあすしゃべり場

日頃疑問に思っていること、悩んでいること等、ざっくばらんに喋りしあうことで、何かヒントがもらえるかも！がコンセプト。

第1回は「楽しかった思い出」を語り、第2回は「初対面の人にとどこまで話して良いか」、第3回は「上手な断り方、声のかけ方」について、困った事があった、こんな風にして上手くいった等、色々なお話が聞けました。

外部講師による〇〇講座

第1回は百合丘障害者センター保健師菅野さんの「熱中症講座」
元気に夏を乗り切るための予防策を学びました。今年も暑かったですね。
皆さんは無事乗り越えられましたか？

第2回は麻生区役所危機管理担当中島氏さんの「防災講座」
地震の備えの他、土砂災害で気をつけるポイントも教わりました。

～悦子の部屋～

地域活動支援センター きたのば

笑ったり・泣いたり・時に寝ていたり、起きてくれなくて困る事もあるけれど、何とも言えない魅力を放つ、きたのばメンバーの悦子さん。今回はそんな悦子さんの独占インタビュー。

皆さんの元気のヒントになればとお話ししてくれました。

Q. 元気の秘訣は何ですか？

A. 年齢を重ねると心が燃えていても、体がついてこないことがあるんですよね。私達みたいに病気があったりすると特に。その中でも元気を保てるのは「信念」を持っているからだと思います。私はクリスチャンだから、「罪を許す」「自分自身のように人を愛する」という信仰が私に元気をくれています。誰もが無意識のうちに信念を持っているんじゃないですか。

Q. 以前自分らしきとは「そのままの自分を愛する事」だと話してくれました。今はどうですか？

A. 自己愛だと思います。自分を愛するからこそ、人を愛したいという欲求になる。

Q. きたのばは悦子さんにとってどんな場ですか？

A. 疲れているのに作業するのが憂うつ。時に作業で寝てしまいます。(笑：悦子さんだけです)メンバーさんや職員さんと話をしている時が楽しいです。

病気を理解してもらえるから甘えられる貴重な場です。

～ 友人もとちゃんから応援メッセージ ～

病気をせずに長生きしてね。それが本当の想いです！！



(悦子さん 画：香織)



地域相談支援センターひまわり



『「8050 問題」を考える～これまで支援の届かなかった人へ、何ができるのか～』

上記のテーマで地域ネットワーク会議を開催しました。今回は高齢者支援機関である百合丘地域包括支援センターを含めた訪問型支援機関等が集まり、高齢の親と同居を続けている中年層のひきこもりについて支援現場の情報共有と具体事例について意見交換を行いました。

現状としてわかったことは、高齢の親が元気なときから将来に向けた相談を進めている家庭は非常に少なく、親がいっしょに暮らせなくなり、状態が切迫してから支援機関につながるケースがほとんどのようです。さらに、人が苦手で人との接触を極力避けてきた方にとって自分の困りごとを他者に相談すること自体が困難を極めるとの意見もありました。

地域の支援者は、その方に合ったペースで関わりを重ねつつ、その方の声ひとつひとつに丁寧に耳を傾ける。その結果、どこかの支援機関につながったならば、そのつながりを絶やすことなく保ち続けていく。このような「孤立させない」地道な取り組みが求められていることがわかりました。

今後はご本人やご家族の皆様からお話を聴かせていただく機会を設けていきたいと考えています。



.....み・ん・な・の・広・場.....

～ SKYメンバーの投稿コーナー ～

SKYメンバーの日常を切り取ったホットな投稿をお送りする「みんなの広場」。
今号も素敵な作品がたくさん集まりました！そんぶんに楽しみください★

「統合失調症のつらさ」 西長沢 本朗

この病気は、とにかく、つらいを通り越す自殺勧誘との戦いだ。自分は、まず、イスに座ってられない、すぐ立ち上がってしまう、落ち着かない。歩き回りが止まらない。つらい、つらい。「不安時薬をください」の毎日でした。「自分の存在を否定する不安」、これが、またつらい。頭が爆発しそうになる時も多かった。これが、「自殺したい」と考えてしまう。降りそそぐ矢のように襲ってくる。かといって逃げ場はない。耐え難かった。そして自殺したくなってしまう。この病気、道に例えると、落とし穴と地雷がある戦場のよう、落とし穴に落ちたり、地雷を踏んだ時は、「大波」が症状となって襲ってくる。心の病は、良くなるのに年月が、かかる。今でも自分は、病気が、ひょう変しないように、病気と付き合いながら生きている。思い出すのは、平成十年二月十三日の、つらい症状です。生きることは、死ぬことよりも難しいことがわかった。入院当初「これはもう一生退院不可能」と思いましたが、今、こうして、「紙ひこうき」に通えるのが信じられないけど、生きているだけで、いいのだと、入院中、誰かが言っていた通りだと、ズバリでした。

以上



があでん・ららら
ももいろめがね
ハーブティの原料の一つ
今年もいい色の花が咲きました



「すみれ日誌」
ホームすみれ パー子



「夏の思い出」
があでん・ららら ひろこ
アイスクリームのところの絵は
私と友達の動物たちとの思い出
です。

「シルエット」 さくらスタジオ K
何気ないサギのシルエットが撮れました。
水面に写るサギの目が大きくて
感動しました。



「梅雨の浄慶寺」 さくらスタジオ Y
プログラムで訪れた、麻生にあるお寺です。



「日常のアート2」 はっぴわーく 宮川真頼

最近はず自転車から遠ざかっている次第の僕です。
今年7月にカメラをお店で買い取ってもらい、
新しく中古カメラを買った事です。

それはと言うと、自転車に乗った際、嵩張って
しまうためです。

前回、希望を挙げた事、「誰かと一緒に喫茶店巡
りをする」
と言うのが念願だったのですが、その念願も叶っ
た次第で非常に上手くいっている、
今日この頃です。でも新しく出来た自転車友達
とも今では「自転車ではなく電車に乗って
喫茶店で会う」と言った具合で、自転車ではもう
会えずに残念な過ごし方をしています。

そう言えば今回、すでに転居した後なのですが
とても良い環境です。

これからの夢は「大好きな写真をアートとして
撮って行きたいな」と思う次第です。今の僕のア
ートな写真とは、今通っている作業所の組み上げ
ている物を「キレイに並べて、撮ってみたいな」
という事です。組みあがって並べた物達がカッコ
よくみえるからです。
乱筆で失礼しました。

「大地と青空と親父」 ゆりあす 井上幸男

一番鶏が鳴く頃 いつものように野良に出かける
僕らが目覚めては ひと仕事を終えていた
雨や風の日さえも ひたむきに精を出す
そんな労を惜しまない 姿に心ねぎらう

その風景の移ろいに 季節を知る
育つ緑の田んぼに 豊作を祈ったろう
居て当たり前なんて 今は思えないさ
生き長らえれば 何を語ってくれるのか

急がず遅れず 自然のままに
劣らず優れず わが身のままに
そして誰よりも 大地を愛した親父

そろそろ日が暮れる頃
くわを肩にあげ道を抜ける
家に帰ってくれば 染みる汗と土の匂い
皆が寝静まる時間 納屋から夜なべの明かり
そんな百姓一途な 暮らしに飽きることなく

その年月をこれまで 背負って来た
やがて稲穂が垂れれば 報いに満ちたろう
幾多の青空の下で 時は流れるけど
胸の中にあるよ 面影と少年の日々

急がず遅れず 自然のままに
劣らず優れず わが身のままに
そして誰よりも 大地を愛した親父

臨時総会及び説明会のお知らせ ～社会福祉法人 SKY かわさき設立に向けて～

SKY は「誰もが自分らしく豊かに暮らせるまちづくり」を目指して平成 7 年設立、平成 17 年には NPO 法人を取得し活動を展開してきました。NPO 法人取得当時 3 事業 5 拠点であった小さな法人が令和 2 年 1 月現在 8 事業 11 拠点となり、これら公益的な社会福祉事業を今後も安定的・継続的に運営していくため、令和 2 年 6 月に社会福祉法人 SKY かわさきを設立し、10 月には現在行っている全事業を NPO 法人から社会福祉法人へ事業委譲する準備を進めております。

つきましては、臨時総会を開催して、正会員みなさまに事業委譲および財産贈与の承認を頂きたいと考えております。合わせて、日頃ご支援いただいております賛助会員・利用者・ご家族・関係者の皆さまにこれまでの経過と今後についてご報告したく、下記の要領で説明会を開催致します。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日程：令和 2 年 2 月 13 日（木）

場所：北部リハビリテーションセンター会議室

時間：説明会 16:00～16:30 / 臨時総会 16:30～17:00

説明会内容：経過説明 / 議事：事業委譲の承認、財産贈与の承認



SKYtter



～SKY 職員のつぶやき～ vol.13

があでん・ららのハーブまつりで購入したのをきっかけに、多肉植物にはまって早 2 年半。多肉フェスなどいろいろな販売会に行っては買い集めた結果、我が家のベランダは多肉に埋め尽くされています。多肉にはお花のようにきれいなものからユニークなものまでたくさんの種類がありますが、特に好きなのがリトープスやコノフィツムなどのメセン達。不思議な見た目、脱皮、ぷりぷり感がたまりません！写真はオフトアルモフィルムのリンピーダム。透明の窓が美しく、ぷりっとしたボディは触るとぷにぷにしています。花は終わりかけですが、近くでみると少しくらきらしてとてもかわいい…。ぼーっと眺めていると日々の疲れを忘れてしまうくらい癒し効果は抜群、幸せな気分になります。もともとはろくに植物を育てたことも興味もなかった自分が、まさかこんなにも植物にはまるなんて想像もしませんでした。いまや植物の変化や力強さに元氣と癒しをもらう日々。不思議なものだなあと感じます。多肉と一緒に自分もどんどん成長していけたらいいな～



FROM: 紙ひこうき 呉屋さん

次回のつぶやきは～？



みかんハウス 阿部さん

クロスワード

の答え

み	る	く	き	く
み	み	か	き	し
た	い	ひ	い	ぎ
と	う	も	ろ	し

I	II	III	IV	V	VI
か	み	ひ	こ	う	き

■編集後記

振り返ると、3 年ぶりの編集作業。豊かになっている通信の内容には充実を実感するとともに、自分の目の疲れ具合には衰えを実感しました。伸びしろは... な健康は、現状維持で行きたいですね。（竹）